

第2次 八重瀬町総合計画

基本構想 (10年:2019~2028年度)

前期基本計画 (5年:2019~2023年度)

概要版

大地の活力と うまんちゅの魂が創り出す 自然共生の清らまち



表紙写真提供：神谷良仁氏

2019(平成31)年3月
沖縄県八重瀬町

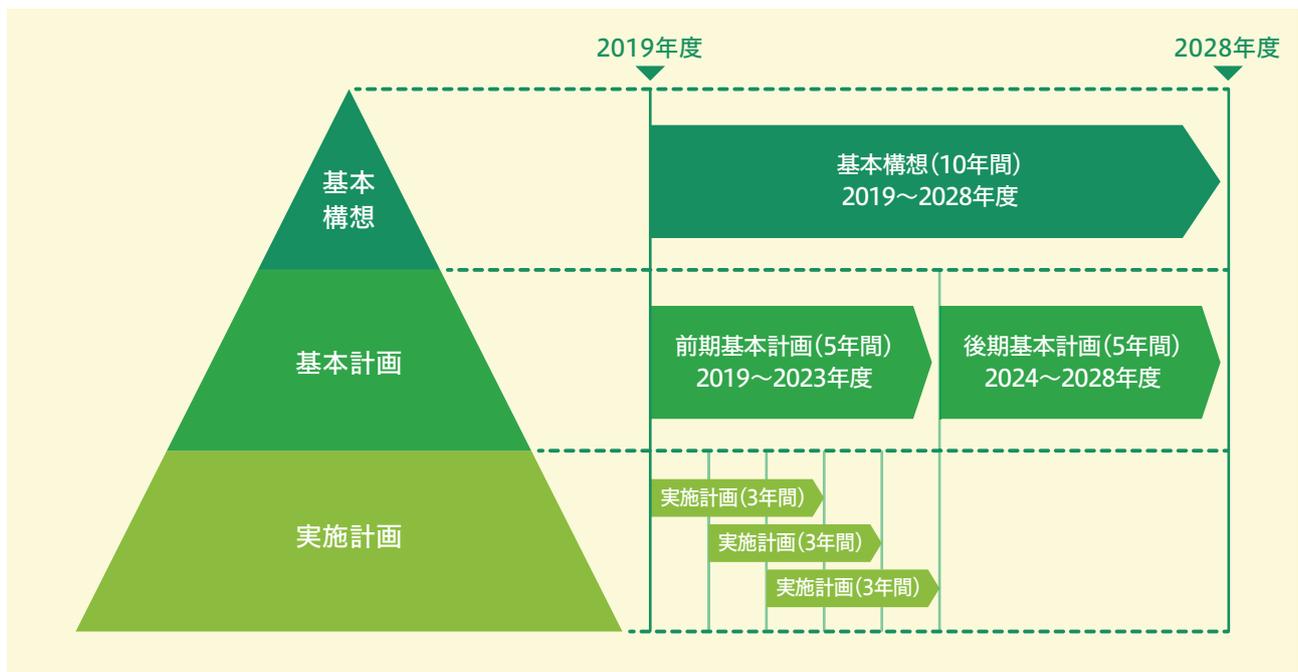
総合計画とは

八重瀬町総合計画は、将来に向けたまちづくりを実現するための総合的な指針として、町の望ましい姿を町民とともに創造する、町民と行政の共通の目標を示す計画です。

総合計画の構成と期間

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」および「実施計画」で構成され、基本構想は2019年度を初年度とし、2028年度を目標年次とします。基本計画は社会環境の変化に柔軟に対応し、円滑な進行管理を期するため前期5年、後期5年とします。

なお、これらの構想や計画をもとに、実施計画は3年を目途として策定し、運用します。

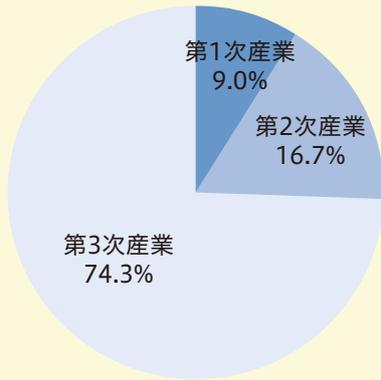


基本構想	まちの将来像を実現するための指針、各分野における基本方針と基本施策を示します。
基本計画	基本構想で掲げた将来像の実現に向けて、各分野で取り組むべき施策や手段などを具体的に示します。
実施計画	基本計画に示された施策・事業について、財政計画等と連動させ、優先度を考慮しながら具体的に実施する事業計画を示します。

八重瀬町の雇用

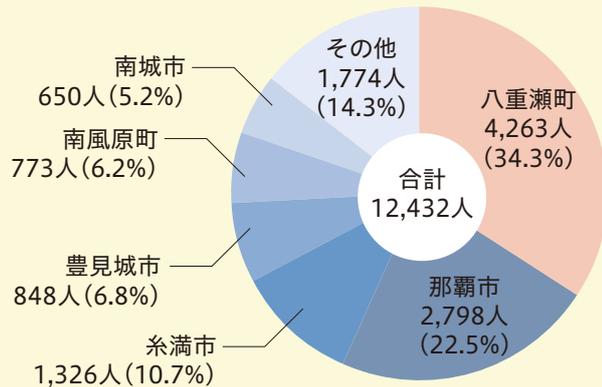
町民の就業産業

町民が就業する産業を見ると、第3次産業が最も多く、増加傾向にあります。第1次産業の就業者割合は9.0%ですが、県平均の約2倍の水準で、第1次産業が盛んです。



町民の勤務地

町民就業者(12,432人)のうち、町内で就業しているのは、4,263人(34.3%)となっています。町外勤務は、那覇市が2,798人(22.5%)、糸満市が1,326人(10.7%)、豊見城市が848人(6.8%)と続いています。



(出所)2015(平成27)年 国勢調査

町民アンケートより

順位	項目	全体(n=445)	地域		順位	項目	全体(n=445)	地域	
			東風平地域 (n=309)	具志頭地域 (n=132)				東風平地域 (n=309)	具志頭地域 (n=132)
1	子育て支援の推進	60.2	63.4	53.0	11	観光の振興	35.5	34.0	37.9
2	高齢者福祉の充実	48.3	51.5	40.9	12	市街地や集落の整備	34.8	37.5	28.8
3	学校教育の充実	47.9	49.8	43.2	13	商工業の振興	33.0	34.3	30.3
4	健康づくりの推進	44.7	45.6	43.2	14	人材育成の推進	32.8	31.4	36.4
5	農業の振興	43.8	45.0	40.9	15	上下水道の整備	32.4	35.9	23.5
6	雇用対策の強化	43.1	47.2	34.1	16	協働のまちづくりの推進	30.6	31.7	28.0
7	家庭教育・幼児教育の充実	41.6	43.7	37.9	17	社会教育施設の充実	29.2	30.1	25.8
8	住宅・生活環境の整備	39.6	41.7	34.8	18	障害者福祉の充実	28.8	31.1	24.2
9	地域安全・防災体制の整備	39.1	41.4	34.1	19	コミュニティ活動の強化	28.1	28.8	27.3
10	交通体系の整備	38.2	39.5	34.8	20	情報伝達・共有の仕組みづくり	27.6	29.8	23.5

注力すべき取り組みについてたずねた質問では、第1位は「子育て支援の推進」(60.2%)となり、「高齢者福祉の充実」(48.3%)、「学校教育の充実」(47.9%)、「健康づくりの推進」(44.7%)と続きました。上位には福祉に関する項目が多くあがっています。

八重瀬町の将来像

すべての町民がいきいきと元気に暮らし、誇りと自信をもって、心豊かで明るく活力あるまちを実現するために掲げた、次の将来像を踏襲します。

大地の活力と うまんちゅの魂が創り出す 自然共生の清ら^{ちゅ}まち

本町の将来像は、ずっと先の未来に渡って八重瀬町が実現しようとするまちの姿を表したものです。将来像には、「自然の力と人々の力を合わせ、調和させることによって、活力と魅力に満ちた八重瀬町を実現し、いつまでも続くように」という願いが込められています。将来像を構成する言葉には、以下のような意味があります。

大地の活力

森林などの自然環境や、生産活動の基礎となる土地、農林水産業などに欠かさない地力

うまんちゅの魂

八重瀬町に暮らすすべての人々の魂や気力

自然共生の清ら^{ちゅ}まち

八重瀬町が理想とする、自然豊かで清らかな美しいまち



八重瀬公園からの風景

まちづくりの指針

本町の将来像を実現するための手法や方向性を示すために、新たに「まちづくりの指針」を定めました。

八重瀬らしさを活かした 豊かで健やかなまちの実現

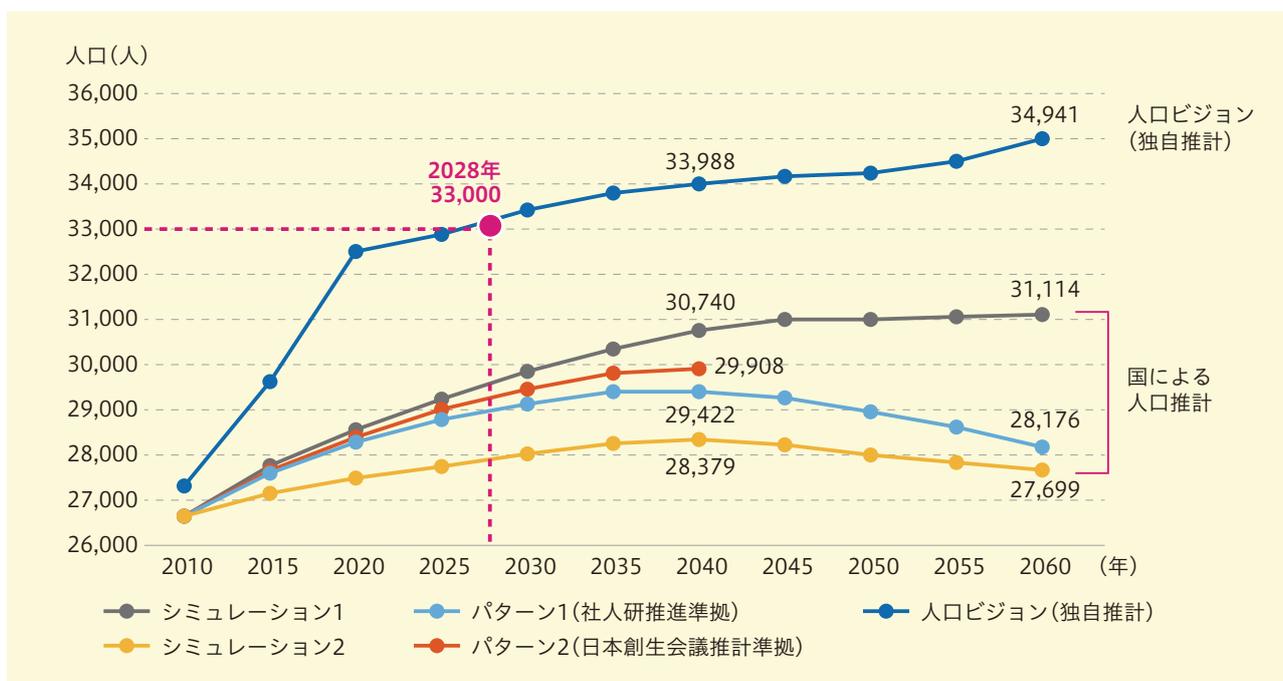
「市街地と田園地帯や自然環境、まちをつくり上げてきた先人や経験豊かな方々と若い世代、歴史や伝統と社会の変化への対応など、さまざまな要素の相乗効果により、豊かで健全な八重瀬町をつくりましょう」という取り組みの方向性を表しています。

八重瀬町を構成するさまざまな要素

- ひと** 子どもや若手からベテラン世代まで、古くからの住民や新しい住民、さまざまな立場・職業・価値観の人々
- もの** 豊かな自然・田園地帯・新しい街、さまざまな産物
- こと** 歴史・文化、農業・工業・観光を含む商業

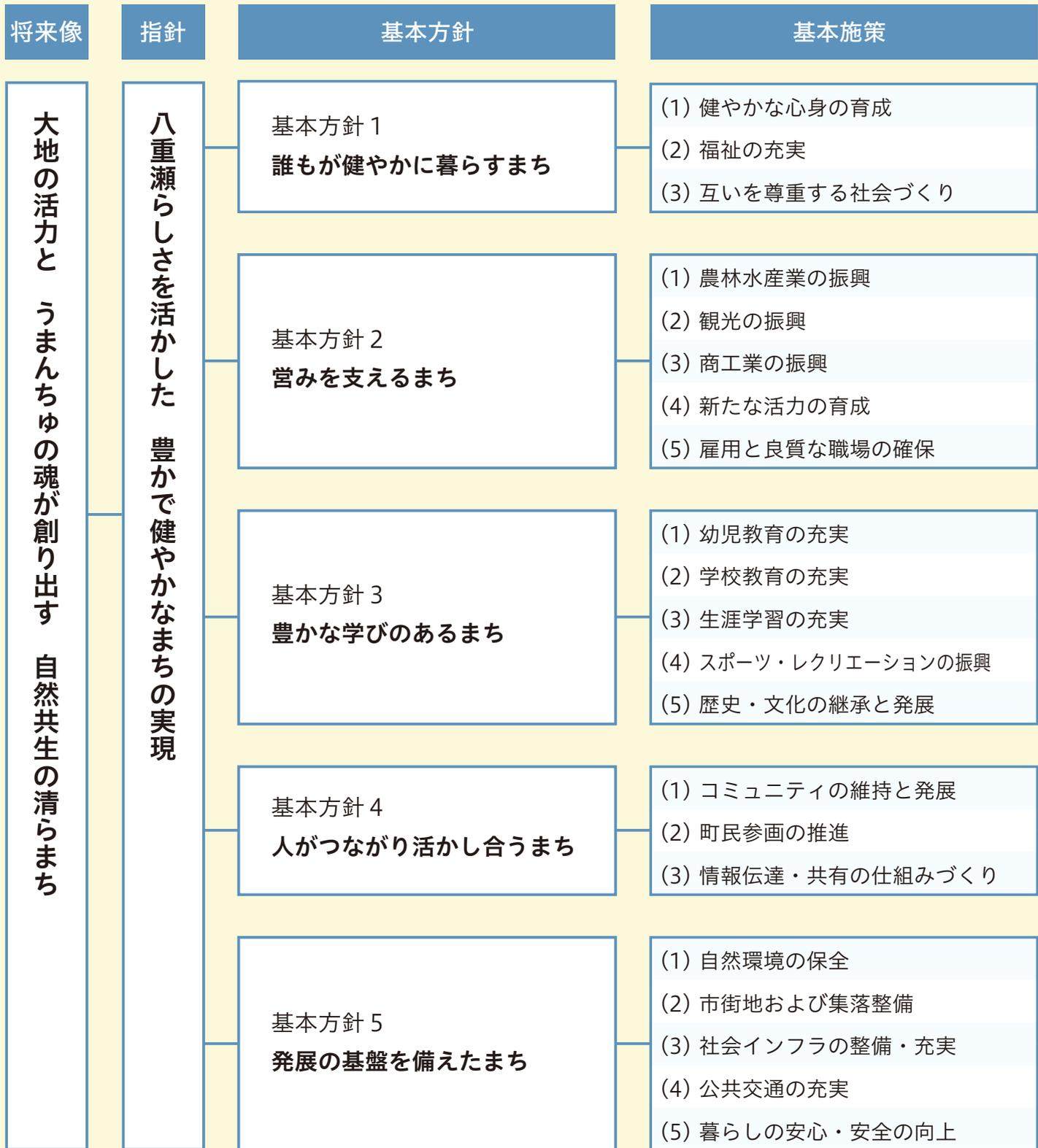
将来人口

本町の掲げる人口ビジョンに基づき、第2次総合計画の目標年次である2028年度の将来人口を、3万3000人と設定します。



施策体系

本町の将来像を実現するための指針と基本方針に基づいて、基本施策を実施していきます。



基本施策概要

- 一人ひとりが生活習慣への関心を高め、健康増進に努められるよう、ライフステージに応じた取り組みを推進します。
- すべての町民が安心して、希望をもって暮らせる地域を実現するための施設や制度、サービスの充実に取り組みます。
- さまざまな個性や特性、境遇にある人も互いに尊重し合い、社会に参加できる環境を創出します。

- 安心安全で付加価値の高い食を提供し続けるための支援と、持続性を担保するための取り組みを推進します。
- 立地と地域資源を活かした観光産業および観光人材の育成、観光ニーズの変化に対応した取り組みを展開します。
- 暮らしと町の経済を支える担い手としての商工業発展の実現と、商工会による支援展開の推進を支援します。
- まちの開発と発展、技術や社会情勢の変化に対応する、新たな事業に挑戦する担い手への支援と育成を推進します。
- 就業に対するニーズを満たす雇用と、さまざまな人がやりがいを感じ、キャリアを形成できる職場を確保します。

- 子どもたちが多くのことを学び、社会の一員として成長していける環境づくりを推進します。
- 子どもたちがストレスなく学習やスポーツに励むことができるよう、良好な学習環境を創出します。
- だれもが、いつでも、どこでも学習することができる環境の実現、町内人材の育成に努めます。
- 魅力的なスポーツ環境づくりに努め、住民自らが率先した健康づくりを支えるため、生涯スポーツ社会を目指します。
- 文化財の調査研究、保全、活用を通し、八重瀬町の歴史に関する啓発、民俗芸能の保存と伝承、振興を推進します。

- 自治会や女性会、青年会をはじめとした地域団体の活性化と、運営能力を強化する取り組みを展開します。
- 自ら地域をつくっていく意識の醸成と、誰もが参画しやすい社会を実現する取り組みを展開します。
- 必要な情報が必要な人へ効率良く届けられる環境をつくるための取り組みを推進します。

- 生活や産業、文化や学びの基盤となる自然環境や景観を保全し、活かすための取り組みを展開します。
- 適正な土地利用の促進を図り、魅力と活気あふれる市街地の形成に努めます。
- 町民や事業者の利便性を高め、暮らしの充実や商工業の発展を実現できるような施設の設置や充実に取り組みます。
- 誰もが不自由や大きな負担を負うことなく移動でき、多様な観光客を引き込むことができる環境を創出します。
- 自然災害による被害や交通事故を防ぐ取り組み、特殊詐欺やネット犯罪などの被害を防ぐ施策を展開します。



1990年頃の具志頭交差点周辺



2019年3月現在の具志頭交差点周辺

第2次八重瀬町総合計画

制作 沖縄県八重瀬町
所在地 〒901-0492 沖縄県島尻郡八重瀬町字東風平1188
電話 098-998-2668
URL / <http://www.town.yaese.lg.jp/>
編集 企画財政課
発行 2019(平成31)年3月